

父親の育児支援ニーズに関するアンケート調査（2025年）について

1. 概要

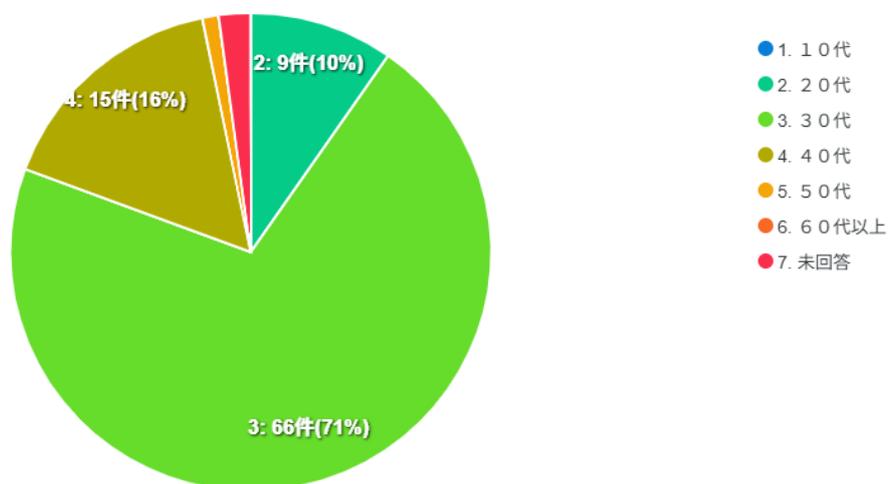
世田谷区では、誰もが安心して子どもを育てられる地域社会の実現を目指し、子育て支援施策の充実に取り組んでいる。近年、家庭における育児の担い手が多様化する中、父親の育児参加を推進することは、子どもの健やかな成長や家庭の安定に寄与する重要な要素として位置づけられている。

こうした背景を踏まえ、区として父親が育児の中でどのような状況や課題、思いを抱えているのかを把握し、今後の施策の検討に生かすことを目的として、本アンケート調査を実施した。

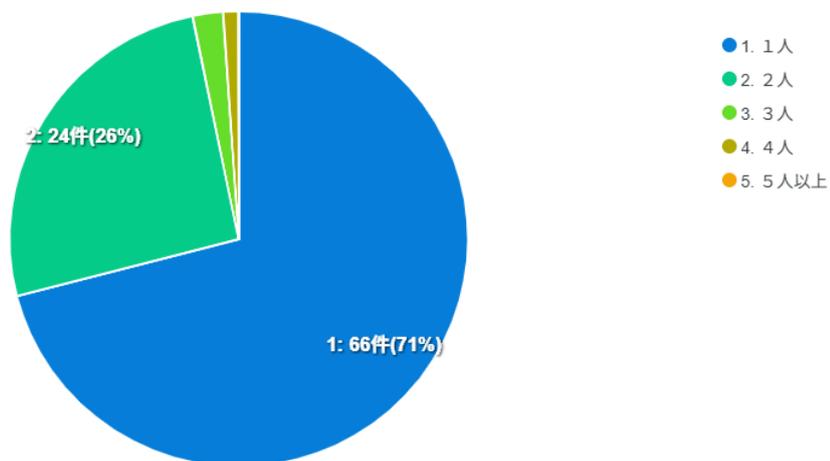
- ・対象者：令和7年12月1日～12月31日に、見守り訪問事業『せたがや0→1(ゼロいち)子育てエール』を利用した家庭の父親
- ・回答者数：93件（期間中の訪問数：334件）
- ・回答形式：Web アンケートにて選択式および自由記述

2. アンケート結果

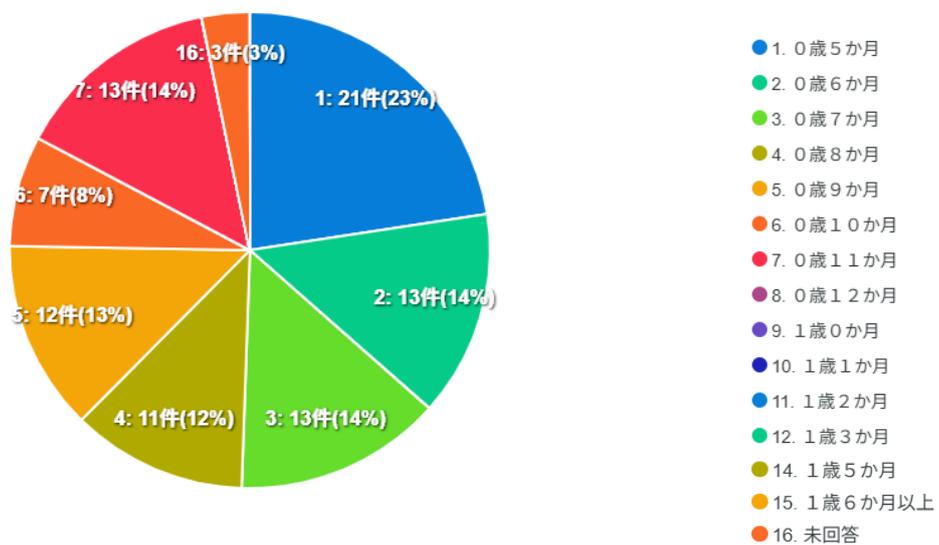
Q1. あなたの年齢を教えてください。



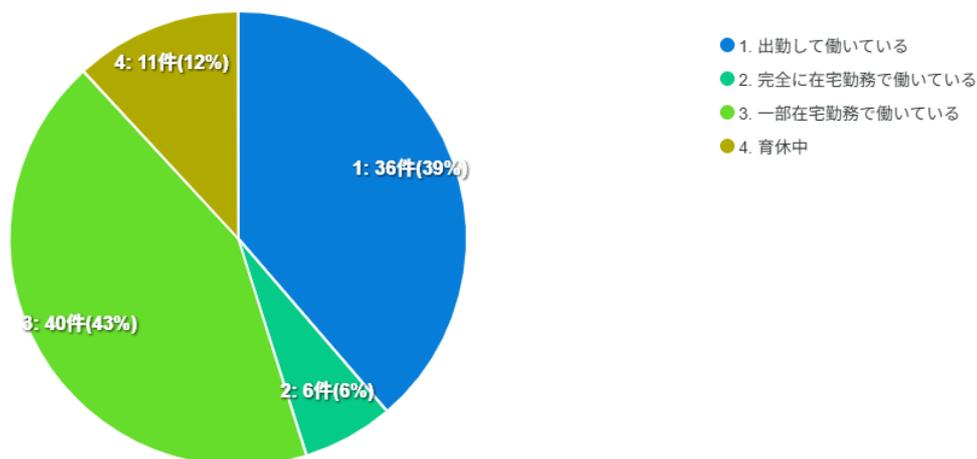
Q2. お子さんの人数を教えてください。



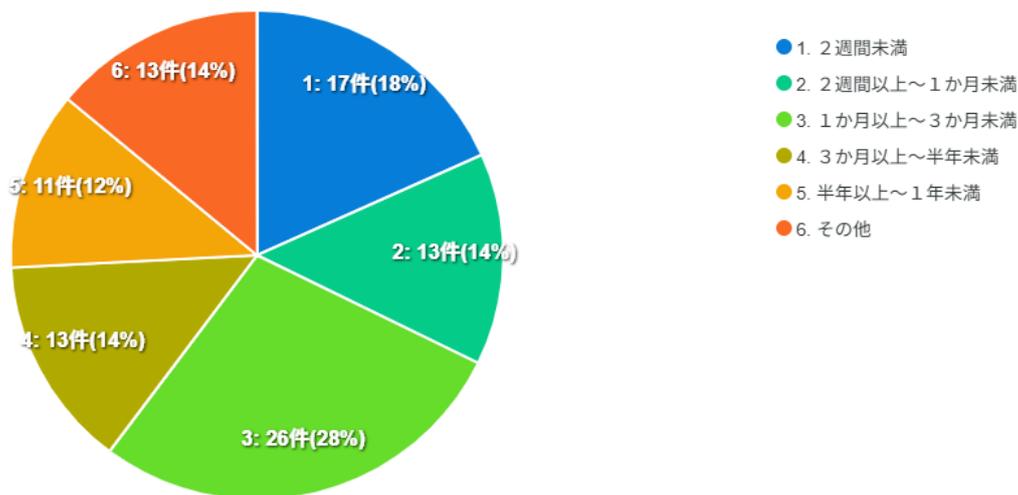
Q3. せたがや0→1子育てエールの対象のお子さんの月齢を教えてください。



Q4. 現在の就労状況について教えてください。



Q5. 過去または現在の育児休暇・育児休業の取得状況を教えてください。

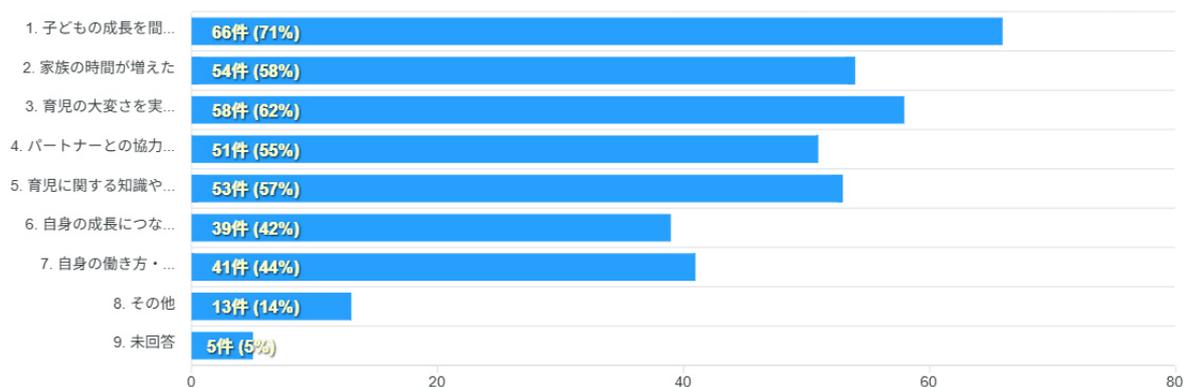


Q6. 育児休暇・育児休業を取得してよかったことについて、あてはまる項目を選択してください（複数選択可）※せたがや0→1子育てエールの対象のお子さんについてお答えください。

（選択肢）

- ① 子どもの成長を間近で見られた
- ② 家族の時間が増えた
- ③ 育児の大変さを実感した

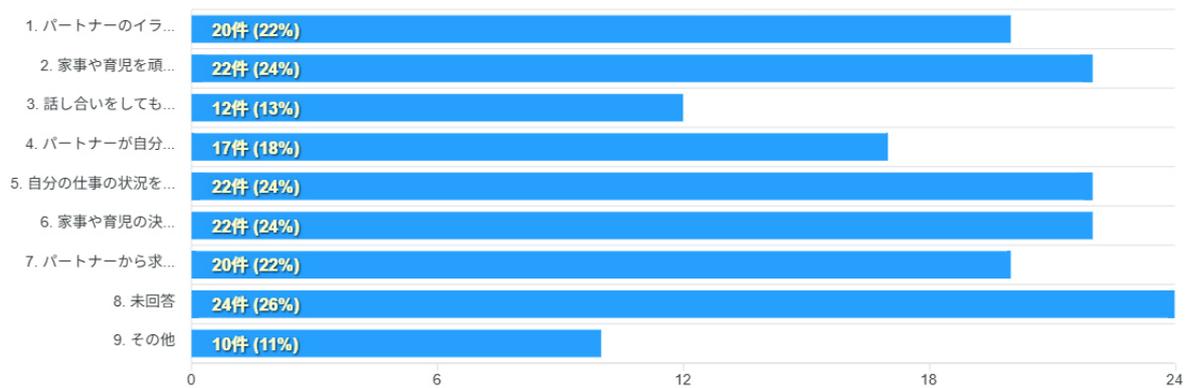
- ④ パートナーとの協力体制が整った
- ⑤ 育児に関する知識やスキルが身についた
- ⑥ 自分自身の成長につながった
- ⑦ 自身の働き方・生活について見直す機会になった
- ⑧ その他
- ⑨ 未回答



Q7. 家族との関係で感じたことについて、あてはまる項目を選択してください（複数選択可）

（選択肢）

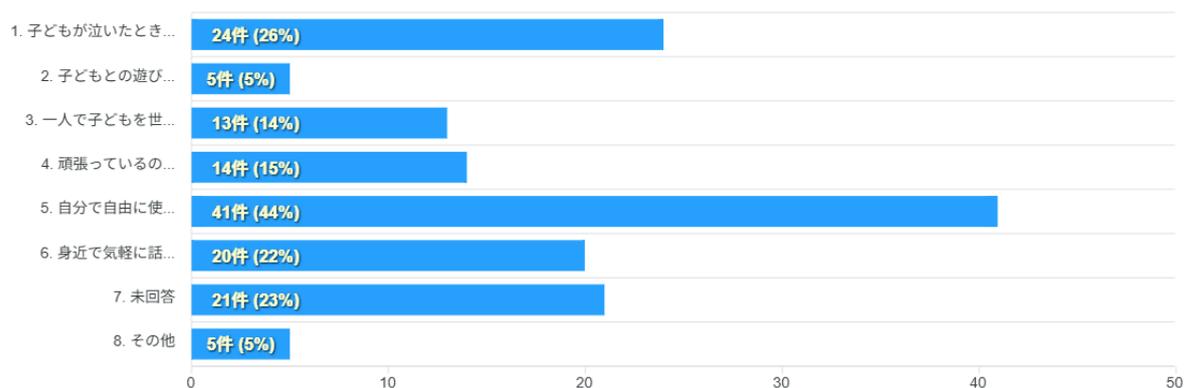
- ① パートナーのイライラする理由が分からない
- ② 家事や育児を頑張っているのに認めてもらえない。
- ③ 話し合いをしても気持ちがパートナーに伝わらない
- ④ パートナーが自分に何を求めているのか分からない
- ⑤ 自分の仕事の状況を理解してもらえない
- ⑥ 家事や育児の決め事はパートナーの意見で決まる
- ⑦ パートナーから求められるものが多いと感じる
- ⑧ 未回答
- ⑨ その他



Q8. 子育ての場面で、不安に感じたこと（モヤモヤした気持ち）について、あてはまる項目を選択してください（複数選択可）

（選択肢）

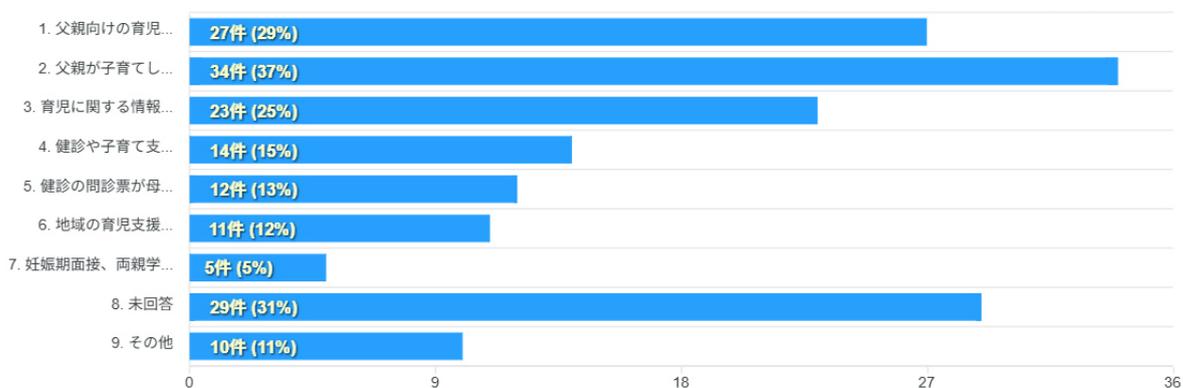
- ① 子どもが泣いたとき、どう対応していいか分からない
- ② 子どもとの遊び方や関わり方が分からない
- ③ 一人で子どもを世話することが難しい
- ④ 頑張っているのに、子どもはパートナーを求める
- ⑤ 身近に気軽に話せるパパ友がない
- ⑥ 自分で自由に使える時間が持てない
- ⑦ 特に感じなかった
- ⑧ 未回答
- ⑨ その他



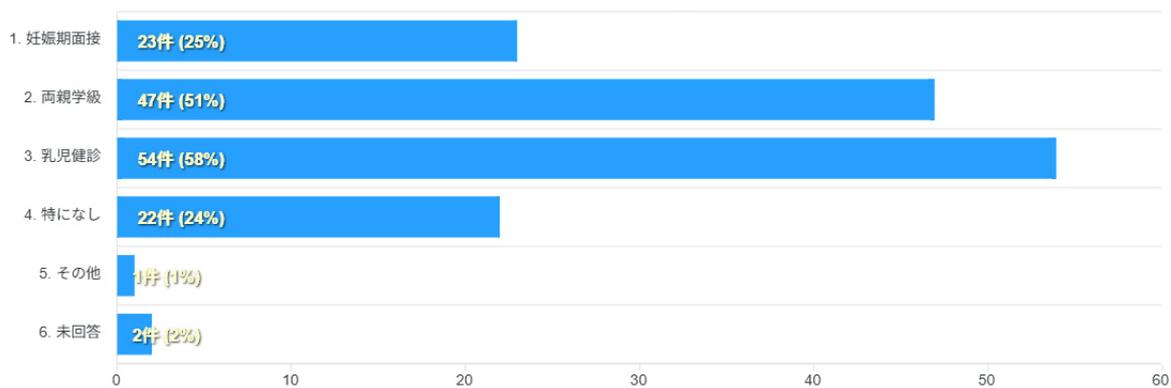
Q9. 社会の制度や環境について、不安に感じたこと（モヤモヤした気持ち）について、あてはまる項目を選択してください（複数選択可）

（選択肢）

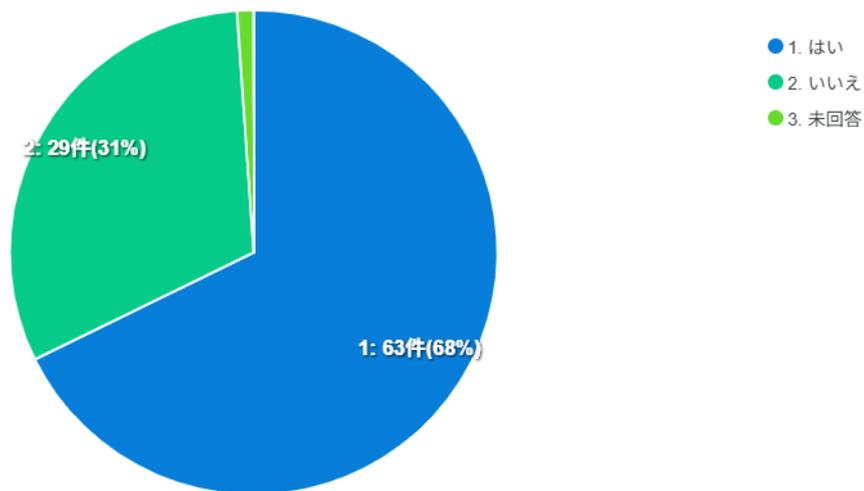
- ① 父親向けの育児支援が整っていない
- ② 父親が子育てしやすいような制度・環境が整っていない
- ③ 育児に関する情報が母親に比べ少ない
- ④ 健診や子育て支援の場に行きづらい雰囲気がある
- ⑤ 健診の問診票が母親向けで答えづらい
- ⑥ 妊娠期面接・両親学級など母親中心で、父親向けの情報が少ない
- ⑦ 関わっている専門職が父親を理解しようとしていないと感じた
- ⑧ 未回答
- ⑨ その他



Q10. 区の事業で参加したことがあるものを選択してください（複数選択可）

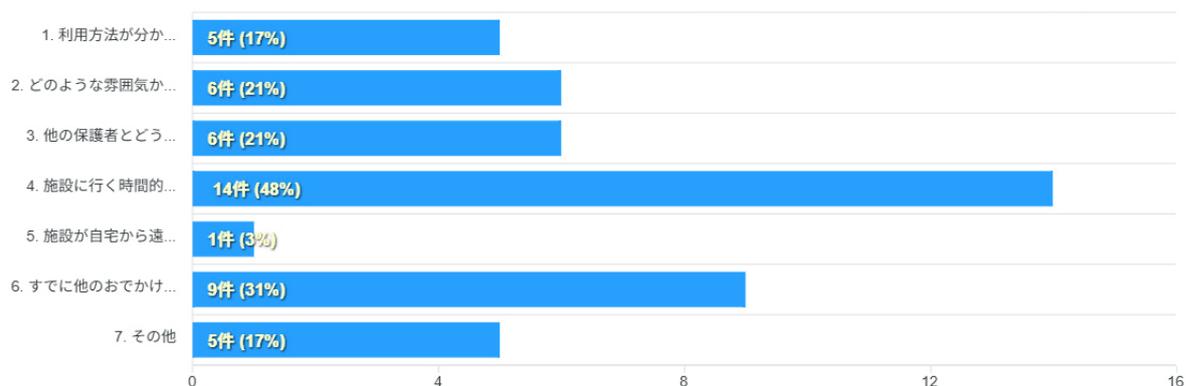


Q11. 地域にある子育て支援施設（おでかけひろば、児童館、保育園・幼稚園の地域交流）を利用したことがありますか。



Q12. Q11.で「いいえ」を選択した理由を教えてください（複数選択可）
（選択肢）

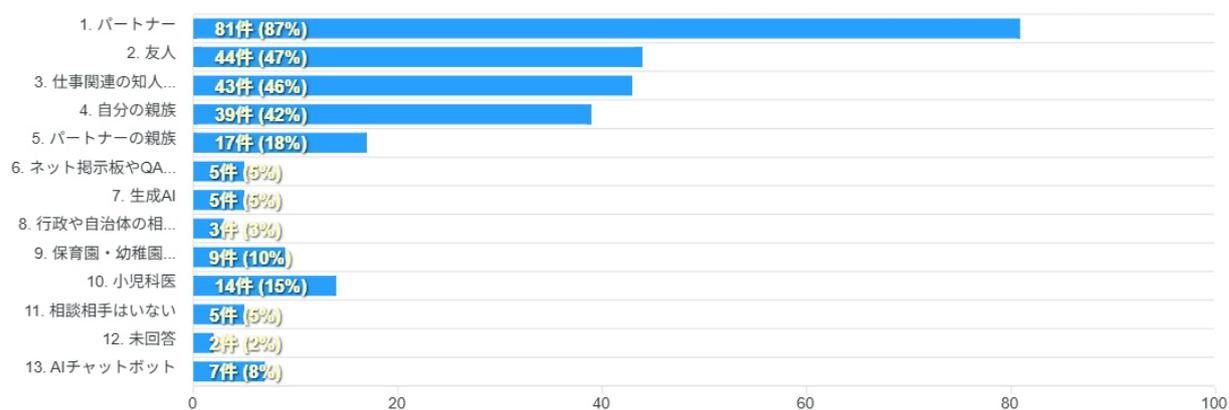
- ① 利用方法がわからない
- ② どのような雰囲気なのか分からず、馴染めるか不安がある
- ③ 他の保護者とどう接すればいいか分からない
- ④ 施設に行く時間的な余裕がない
- ⑤ 施設が自宅から遠く、気軽に行けない
- ⑥ すでに他のおでかけ先（公園、友人宅など）があり、満足している
- ⑦ その他



Q13. 育児に関する困りごとを話す相手を教えてください（複数回答可）

（選択肢）

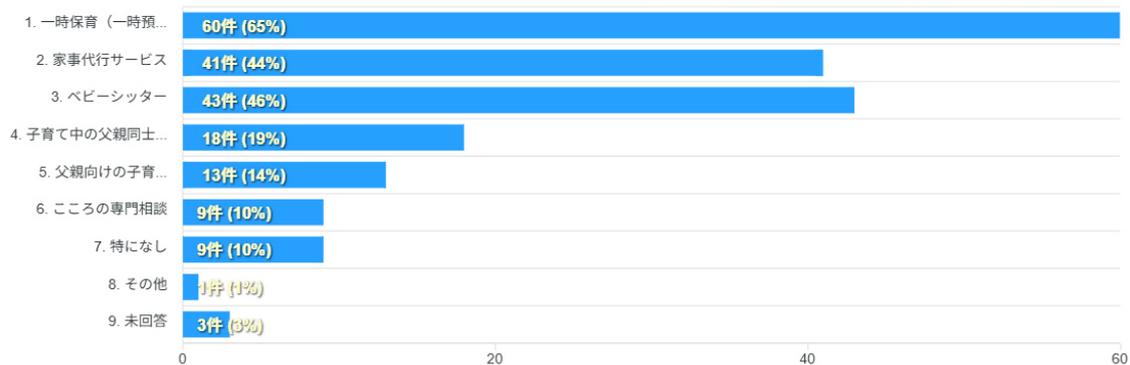
- ① パートナー
- ② 友人
- ③ 仕事関連の知人・友人
- ④ 自分の親族
- ⑤ パートナーの親族
- ⑥ ネット掲示板やQAサイト
- ⑦ 生成AI
- ⑧ 行政や自治体の相談窓口
- ⑨ 保育園・幼稚園の先生
- ⑩ 小児科医
- ⑪ 相談相手はいない
- ⑫ 未回答
- ⑬ AIチャットボット



Q14. 地域のサービスとして、あったら利用したいものを教えてください（複数選択可）

（選択肢）

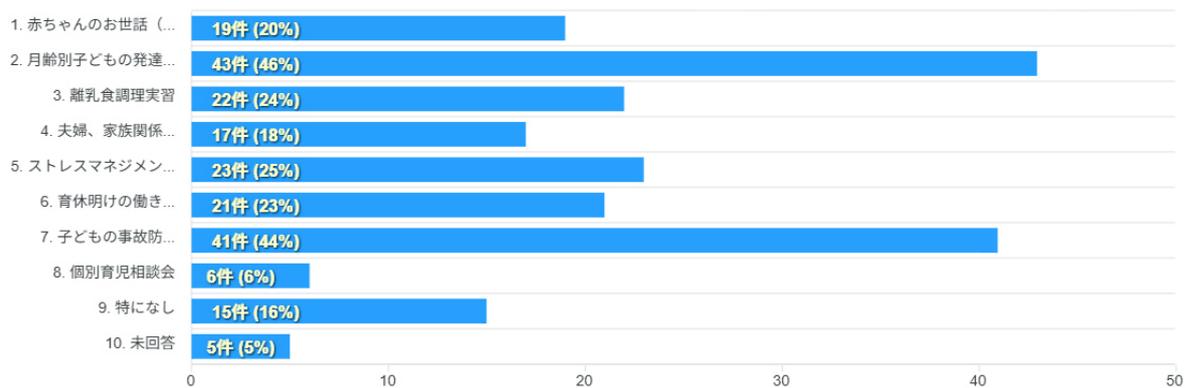
- ① 一時保育（一時預かり）
- ② 家事代行サービス
- ③ ベビーシッター
- ④ 子育て中の父親同士の交流
- ⑤ 父親向けの子育て講座
- ⑥ こころの専門相談
- ⑦ 特になし
- ⑧ その他
- ⑨ 未回答



Q15. 子育て講座で参加したいと思うものを教えてください（複数回答可）

（選択肢）

- ① 赤ちゃんのお世話（授乳・抱っこ・沐浴・離乳食作りと食べさせ方等）
- ② 月齢別子どもの発達と遊び
- ③ 離乳食調理実習
- ④ 夫婦、家族関係のパートナーシップ
- ⑤ ストレスマネジメント、アンガーマネジメント
- ⑥ 育児休業明けの働き方と両立支援
- ⑦ 子どもの事故防止と応急手当
- ⑧ 個別育児相談会
- ⑨ 特になし
- ⑩ 未回答



Q16. その他、日ごろ子育てについて感じていることや伝えたいことなど、どのようなことでも自由にご記入ください。(一部抜粋)

- ・辛い事もありますが家族がいて毎日幸せです。
- ・仕事との両立が難しい
- ・ベビーカーを使う際、特にターミナル駅のエレベーター数の少なさや、そこまでの案内が分かりにくいと感じる。
- ・事故防止と応急処置は勉強したいです。
- ・結局妻に負担が寄ってしまっているため反省と感謝をしている
- ・仕事との両立が難しいです。
- ・とっても楽しく子育てしてます
子どもが可愛すぎてやばいです
楽しく子育てができる区の催し物が増えたらいいなと思います！
- ・今回9ヶ月の育休を取得し、男性でもここまで長く取得するのは初めてとの事でした。
社会全体での男性育休取得促進のおかげもあり職場にも快く育休を承諾いただけ、妻と二人三脚で育児を手伝うことができました。
家族や子供との時間も増え、本当に育休取得してよかったと実感しております。
今後も男性の育休取得が当たり前になるような社会になる事を願っております。
- ・可愛いと思うことが圧倒的に多いものの、あまりにもうるさくてイラつき、つい怒ってしまうことがある。
そんな自分に嫌気がさすが、子供のことは間違い無く好きなのでどうしたものかとは思っている。
- ・世田谷区は子育て情報充実しており、男親でもその気になって調べれば情報は簡単に手に入れられると思いました。普段出かける子育て広場は基本的にママしかいないので最初は出かけるのを躊躇していましたが、次第に慣れてくると職員の方もママ達もいい人ばかりで楽しく過ごすことができましたので、行って良かったと思いました。
- ・みんなよくやってるよ、がんばってるよね。ちょっと頑張りすぎだな。子育てはとても大変ってみんながもっと共有共感するようにしていくといいよね。
- ・パートナーが人の気持ちを理解することが苦手な人なので子どもの気持ちを思いやることができているか心配。ママ友とかできなそうです。→削除？
- ・現在育休中で、以下2つ挙げます。
妻の負担、ストレスが多いことは以前から分かっていましたが、母親と父親の脳内の違いが本当に差があると感じました。
母親がどんなことを考えながら日々育児を行なっているかなど、シェアしていただけるお母さんから、これから育児にあたっていく父親に話をさせていただくなどいいのでは？と思います。
良かれと思ってやったことが、妻にとっては必要なかったり余計な事だったりで、申し訳

なさとショックを感じる事が多々あります。人それぞれと思いますが、何かベースとなる考えかたなどがあればスタートを切りやすいのではないかなと思います。

復帰した後に家族全体のメンタルが今の状況を保てるかが心配です。

在宅を増やすための相談を職場に行いますが、職場の上司の育児に対する理解度が心配。上の世代の方々にはあまり理解ができない（当時は文化が違っていた）と思うので、国からでも自治体からでも企業に対する育児休業や育休に対する考え方を刷り込んでいただきたいなと思います。

- ・妻にとっても感謝しています。自分は産んでもいないし、仕事で外に出ている間も嫌な顔せず子供と関わってくれる姿は尊敬します。
- ・最近うつ伏せ寝が激しくて困っている。仰向けにしてももとに戻ってしまうので、呼吸だけ気をつけて諦めているが、皆どうしているのか。

お問い合わせ先

《烏山ネウボラチーム》

烏山総合支所保健福祉センター健康づくり課

03-3308-8246

烏山総合支所保健福祉センター子ども家庭支援課

03-3326-6155

地域子育て支援コーディネーター（烏山地域）

070-6478-8895